

怒りの赤で「戦争NO」

富山で女性ら70人 安保法反対訴える

安全保障関連法反対を訴え続けようとして、女性ら約70人が6日、富山市明輪町の富山駅前で、怒りや平和への願いを表す赤色の帽子やジャンパーなどを身に著け、同法への抗議の声を上げた。

県内の市民団体などをつくる女性のレッドアクションやま実行委員会が主催した。赤いジャンパーなどを身に著けた参加者は「戦争法NO」「わすな



赤い服を身に著け、プラカードを示して安全保障関連法反対を訴える女性たち＝富山駅前

12月9日

回、同様の活動を続けている。実行委の堀江節子さんは「諦めない」という私たちの思いを示して、「く」と話していた。

来年も1月に12月11日の午後1時半から活動を予定。【成田直樹】

18(金) 護憲定期総会

16:00 自治労

「憲法9条」などを掲げ、シュプレコーズを上げた。保連連法成立後も、グループは9月の安

16(水) 志賀原昇原告団会談

17(木) 食みず緑定期総会

15:00 自治労

高岡連帯定期総会

18:15

入善連帯定期総会

18:00

「戦争考える集会」 金大准教授が講演

社民高岡総支部など

12月19日 北中

社民党高岡総支部と高岡連帯する会などをつくる平和集会実行委員会は8日、高岡市の高岡商工ビルで、「加害者としての戦争を考える12・8集会」を開いた。金沢大の石川多加子准

加害者としての戦争を考える12.8集会



自民党の改憲草案を批判する石川多加子さん＝高岡商工ビルで

教授（憲法）が安全保障関連法と自民党の改憲草案の危険性をテーマにして講演した。

石川准教授は現行の憲法と改憲草案を比較しながら、「天皇制や第九条などに言及し、「改憲草案は公共の福祉ではなく、国益や公益を優先させるという考え方。新設しようとしている第九章緊急事態は危険」と批判した。

同支部などは真珠湾攻撃で太平洋戦争が開戦したのと同じ十二月八日に毎年、集会を開いている。

（武田寛史）

富山駅前で200人デモ



安保法の廃止を求める参加者たち＝JR富山駅前

秘密保護法や安保 市民団体廃止訴え

12月18日 北中

機密を漏らした公務員らに厳罰を科す特定秘密保護法の施行から一年を迎えた十日夜、富山駅前で、同法と安全保障関連法の廃止を求め

める集会「戦争法廃止！富山県民集会」があった。市民団体などをつくる「戦争する国」づくり反対共同行動実行委員会が主催。市民ら約二百人（主催者発表）が参加した。呼び掛け人の一人で、元

小杉町長の土井由三さんが主催者を代表し、「戦争法と秘密法は一体。二つの法を皆の力で廃止したい」と思っ」とあいさつ。

駅周辺でデモ行進し、参加者たちは「戦争法には絶対反対」「秘密保護法絶対反対」と声を上げて、市民に賛同を呼び掛けた。

（伊勢村優樹）

廃止を求めるリレートークを繰り広げ、「米国主体の有志連合に、日本が加担すればテロの危険が高まることは疑いない。戦争法は発動せず、廃止するしかない」などとする集会アピールも採択した。

・KNBTV
12月22日
特集報映